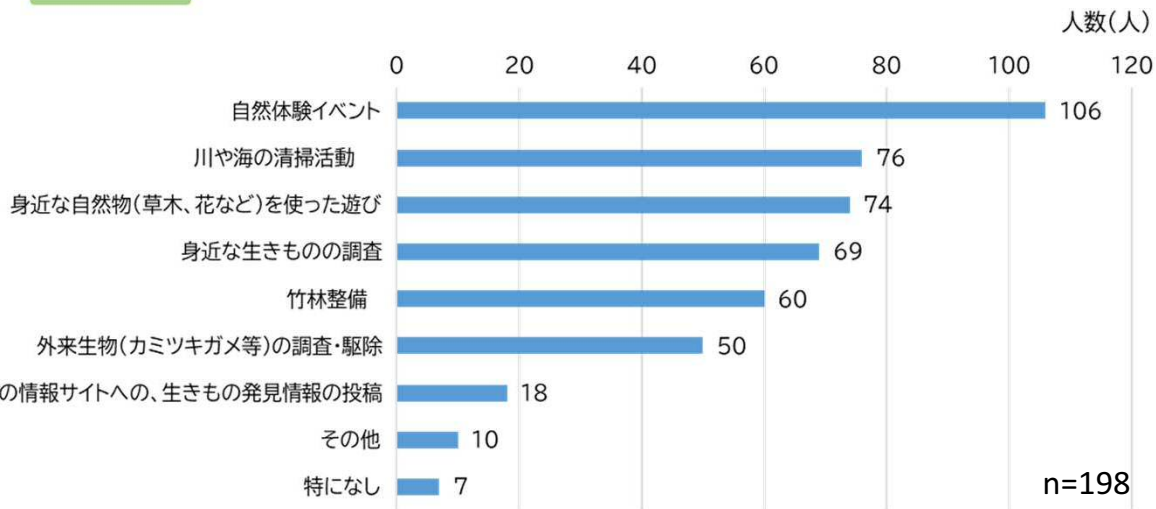


# 第2次静岡市生物多様性地域戦略(案) 選択式設問の集計表

1. 意見募集期間 令和2年11月24日(火)～令和2年12月24日(木)
2. 意見募集結果 (1)意見提出者数198人 (2)意見提出件数 813件 (内 自由記述欄138件)  
(3)選択式設問(問1、問2-1、問2-2)の集計結果及び市の考え方

## 問1

今後やってみたい活動は何ですか？



### 問1 市の考え方

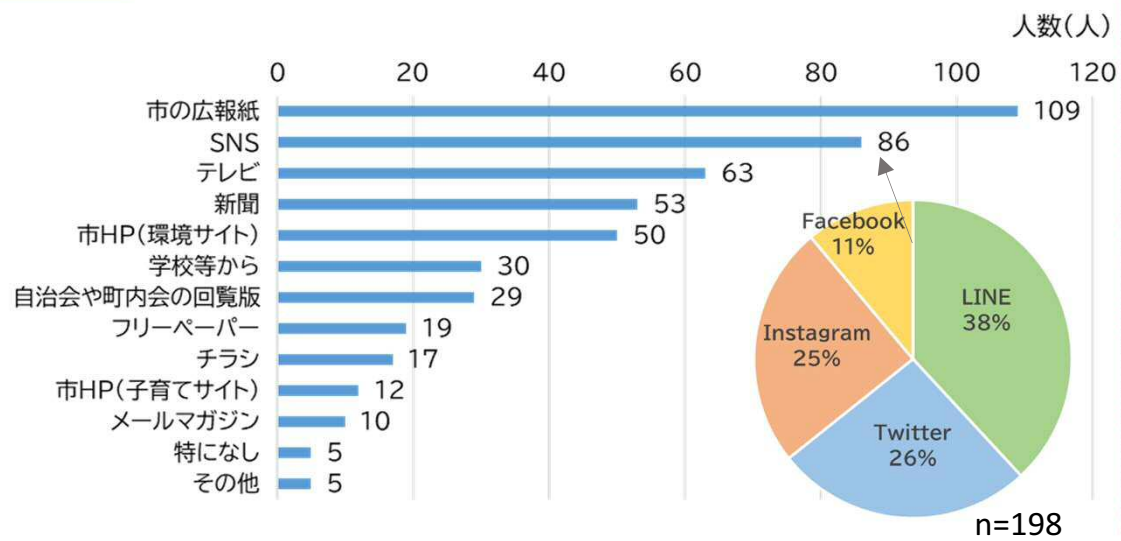
**結果** 10代～50代では「自然体験イベント」、50代～70代では「川や海の清掃活動」や「竹林整備」が上位となった。

**考察** 若い世代で自然体験などのイベントに参加し、自然の魅力や楽しさに気づくことで、自然を守るための清掃、保全活動への意識が醸成されると考えられる。

**今後の方向性** 本編p.52「方針2-1 まちなかでの自然ふれあい機会の拡大に努めます」に記載のとおり、多くの人に自然に触れ合う機会を提供するため、身近な場所での自然体験イベントの開催や、気軽に参加できるイベント情報の集約、またこれらの情報の発信強化を行う。

## 問2-1

自然環境について、どのように情報を受け取りたいですか？



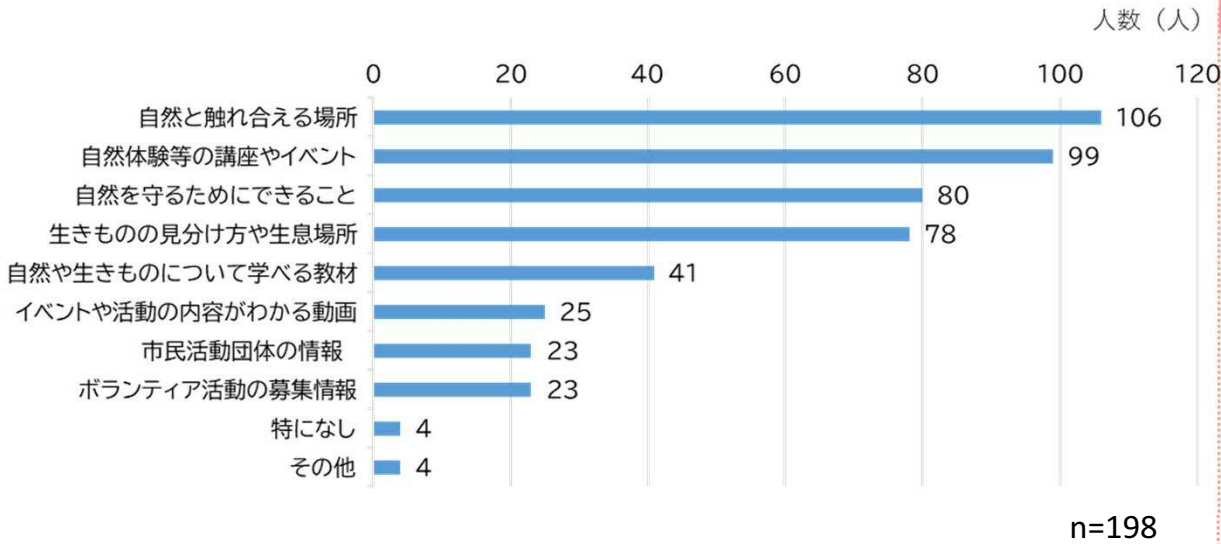
### 問2-1 市の考え方

**結果** 10代～30代では「SNS」、「広報紙」の順に、40代～70代では「広報紙」、「SNS」の順に上位を占めたが、世代ごとに見ると、それぞれ異なる他の媒体の希望も多い。

**考察** 市民の方が情報を得る手段として、広報紙、SNSに限らず、様々な媒体を利用しており、特に「情報を検索する」よりは「情報を与えられる」ことを希望していると考えられる。

**今後の方向性** 本編p.59「方針4-3(1)③生物多様性に関する情報発信の強化」に記載のとおり、多くの人に自然環境に関する情報を提供するため、ターゲット層に応じた、複数の効果的な媒体を利用することで情報発信を強化する。

## 問2-2 自然環境について、知りたい情報は何ですか？



### 問2-2 市の考え方

**結果** 「自然体験等の講座やイベント」、「自然と触れ合える場所」、「生きものの見分け方や生息場所」、「自然を守るためにできること」が各世代で上位を占めている。特に、50代～70代にかけては、「自然体験等の講座やイベント」が最も多い。

**考察** 問1で50代～70代が自然体験イベントよりも清掃活動と竹林整備をやってみたいという方が多かったが、知りたい情報としてはイベント情報が上位だったことから、問1の考察と同様に、自然を楽しむことで、保全意識が醸成されていることが考えられる。

**今後の方向性** 地域戦略に基づいて事業を実施するにあたり、保全活動の重要性や、活動の参加しやすさだけでなく、まずは市民の方が楽しんで参加し、結果として保全活動につながるような内容とする。

**問1～2-2の分析結果** 問1～2-2の結果から、本計画(案)の考え方に問題はないことを確認でき、新たな取組の方向性についての示唆を得ることができた。